

(1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

②バーチャル観光やワーケーション需要等、新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備

<地域おこし協力隊を活用した観光振興事業>

令和2年度から、地域おこし協力隊制度を活用し、白石城内での甲冑体験の実施を中心に、歴史的観光資源や本市の特性を活かしたイベントの企画、実施を行っている。

また、Facebook、Instagram、X(旧Twitter)、Youtubeチャンネルを活用し、活動の様子や白石市の情報を発信しており、プロモーションの一役も担っている。令和5年9月から任用した隊員は、日本語・英語・中国語が堪能であるため、その特性を生かし、白石城をはじめとした白石市の魅力を広く国内外に発信しており、今後のインバウンド需要回復に向けた取り組みを行っている。

○令和5年度の主な活動

- 甲冑体験 インバウンド需要が回復傾向にあることから、外国人向け本格甲冑体験の新設
- 情報発信 外国人観光客の誘客に繋がるよう、多言語発信や掲載媒体を工夫した。
- その他 各種イベントへの参加、清掃イベントの実施、中国の年越し体験など

○令和6年度計画・方向性等

- 本格甲冑体験の体験者を増加させるため、体験内容のブラッシュアップを行う。
- 甲冑体験の認知度を上げるため、SNSを活用した情報発信や旅行会社へのPRを行う。



「本格甲冑体験の様子」

③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進(近隣観光需要の取込)

<国道113号(二市二町)観光推進協議会事業>

平成8年から、国道113号沿線の宮城県、山形県の二市二町の観光資源を共同でPRするため結成された協議会で、白石市から南陽市までの国道113号を愛称「みちのくおとぎ街道」とし、プロモーション活動を中心に、両県をまたいだ周遊を促進する事業を実施している。

また、「みちのくおとぎ街道」は、日本風景街道(所管国土交通省)に登録されており、道をテーマに地域ならではの風景や自然、文化など地域資源を活かした地域づくりを目指し、運営に係るミーティングなどに参加、他の登録ルートの団体と意見交換を行い、活動に活かしている。

○令和5年度の主な活動

- 「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指し、道の駅に配架されている「おでかけみちこ」に記事を掲載
- また、二市二町の魅力を再発見及び発信することを目的とし、フォトコンテストを実施(有効応募総数273件)

○令和6年度計画・方向性等

- みちのくおとぎ街道フォトコンテストにおいて応募された作品を活用し、パンフレット等を作成
- 知名度向上を目指し、高いプロモーション効果が期待できる媒体を選定して情報発信を行う



「フォトコンテスト 白石市賞」
場所 萬蔵稻荷神社



令和5年度事業成果

角田市



(1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

サイクルツーリズム推進事業

令和4年度策定したかくだサイクルツーリズム推進計画に基づきサイクリストたちの市内への誘致等を促進するために、環境整備やイベントの企画を各種団体と連携しながら実施。

6月3日 ファミリーサイクリング コース：角田市交通公園～道の駅かくだ 参加人数：12名

(2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進

④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション

阿武隈急行沿線開発推進協議会事業

(1) 沿線活性化事業の開催

○あぶきゅうウォーク

・阿武隈急行沿線の5自治体にそれぞれウォーキングコースを設定し、参加者はウォーキングを楽しみながら各地の観光地を巡る。

○わたしたちのあぶくま急行絵画コンクール

・沿線自治体の児童を対象に、阿武隈急行の絵画を募集し、阿武隈急行列車内に展示した。

(2) 角田市単独の阿武隈急行線利用促進事業

○体験乗車会&お絵かきトレイン 57名応募の中から、抽選で37名の親子が参加

・阿武隈急行駅長による「あぶ急クイズ」や切符の買い方体験、車両窓ガラスへのお絵かき体験。

(3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や滞在型メニューの充実

①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成

グリーンツーリズムによる体験型観光の実施

6月19日 梅もぎとり収穫体験 青梅収穫体験、梅ジュース作り

8月20日 とうもろこし収穫体験 袋いっぱい詰め放題

4月23日、5月14日、7月2日、9月3日

梨園再生チャレンジ 休耕農地の再生に取り組んでいる梨園の梨が出来るまでの年4回お手伝いをして収穫までを体験。

令和6年度事業計画(案)

(1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

○サイクルツーリズム推進計画に基づくイベントの実施

・ファミリーサイクリング

(2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進

○沿線活性化事業

・あぶQウォーク ・あぶくま急行絵画コンクール

(3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や滞在型メニューの充実

○農業収穫体験

8月 とうもろこし収穫体験 9月 梨もぎとり体験 10月 枝豆収穫体験 11月 ねぎ収穫体験



(1) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実

① アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 ＜蔵王町体験交流活動推進協議会事業＞



陶芸教室(蔵王焼 万風窯)



こけし絵付け体験(みやぎ蔵王こけし館)



アイスクリーム作り体験(蔵王酪農センター)

○体験交流活動に係る受入体制の整備、関係団体との連携、連絡調整を継続して実施

○令和5年度実績:「教育機関」仙台市立小学校1校、中学校3校／県内中学校1校／県外中学校1校…計6校

「主要観光施設」みやぎ蔵王こけし館 等…延べ人数 約 14,000名

○令和6年度計画:「教育機関」仙台市立中学校3校、県外小・中学校2校(R6. 5. 31時点予約)

「主要観光施設」みやぎ蔵王こけし館 等…延べ人数 約 13,000名(予定)



小鳥ブローチ作り(ことりはうす)



森林散策(ことりはうす)



テーブルマナー(Active Resorts宮城蔵王)
※R6.4.1～メルキュール宮城蔵王リゾート&スパ

（1）新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

②バーチャル観光やワーケーション需要等，新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備 農業体験などによる宿泊型交流事業

（株）ベガルタ仙台と七ヶ宿まちづくり（株）と連携し、町内の空き家をリノベーションした「ベガルタハウス」の畑を活用し、種まきから収穫、販売など年間を通したイベントを展開することで町に訪れる交流人口の増加を図るほかSDGsにも寄与する。また、小学校や七ヶ宿ダム自然休養公園運動広場（スポーツパーク七ヶ宿ベガルタ仙台）を利用したサッカー教室や宿泊イベントを通してスポーツの振興を図る。

○事業者体：まちづくり株式会社

- ・5/25(土) 第1回種まき体験実施
- ・6/2(土) 第2回種まき体験実施
- ・8/9(金)-8/10(土)小学生対象の宿泊型農業体験イベント開催予定
- ・秋に収穫体験会を予定



（2）広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進

②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 七ヶ宿ブランド事業

「七ヶ宿ブランド」の認定や新規認定品の開発支援などに行うとともに、町内の直売施設やイベントのほか、町公式ショッピングサイト「なないろストア」をリニューアルし、七ヶ宿ブランドの認知向上のためSNSやホームページ等でのPRを行っていく。

○事業委託先：七ヶ宿町商工会

- ・R6.6月末時点 特産品3品、認定品13品



（3）広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や，滞在型メニューの充実

①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 南蔵王やまびこの森事業

キャンプ場運営に加え、長老湖を利用したSUP体験や貸しボート事業のほか新たに売店営業を行うなどより多くの観光客に滞在していただけるような事業を行う。

新たにファンイベント等を開催し、より多くの観光集客を図るとともに宿泊交流人口の増加を図る。

○事業主体:まちづくり株式会社

- ・4/7(日)やまびこDAYS開催（アウトドア体験や販売・ワークショップ等）
- ・8月末やまびこの森キャンプ場ファンイベント開催予定



（3）広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在メニューの充実

② 隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成

▶ みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議事業 〈令和6年度事業計画(案)〉

① みやぎ仙南サイクルツーリズム TV番組制作事業

TV番組として、蔵王の麓に広がる仙南地域のサイクリングの魅力を紹介する映像作品を制作（委託）し、サイクリスト誘客を図ります。

◆番組構成

仙南エリアのサイクリングの魅力を広めるアンバサダーに任命を予定しているMTBプロライダー井手川直樹氏が、仙南地域を1泊2日でサイクリングで巡り、サイクリストの目線で、自然や風景、おすすめスポットを紹介。

◆放送

BS11で放送

※放送後Youtube、Tverで視聴可（視聴期限あり）

◆放送時期 9月または10月を予定（再放送あり）
秋の行楽シーズンでの誘客を図ります。

◆経費 映像制作委託料
※放送料はBS11が負担

◆その他

番組で紹介する2コース（1日目のコース、2日目のコース）以外にも、コースを設定する予定。

コースとコース映像を推進会議ホームページに掲載。

※番組制作で撮影した映像を素材にコース紹介の映像を別に制作します。

制作した映像作品はデータファイル、DVDで納品を受け各市町で使用できます。※インターネットでの常時公開は不可。

BS11ホームページに番組特設サイトを設け、推進会議HPやSNSへの誘導を行います。

撮影された映像から、SNS投稿用のショート映像を制作し、放送後に推進会議のSNSの投稿を増やします。

TV放送の反響の受け皿として、直営によるHPやSNSによる情報発信が必要になります。

② 令和7年度以降の事業計画検討

令和5年度をもって推進会議設立当初に計画した事業をほぼ実施した。また、TV放送の反響の受け皿として、令和7年度以降の事業計画を検討します。

（1）新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

●宮城オルレ村田コース

2023年11月11日オープン。村田コースは、町の中心部と里山の距離が近く、歴史が色濃く残る「蔵の町並み」と自然豊かな里山の道を楽しめるコース。令和6年度は「宮城オルレフェア」期間中に、村田コース単独のイベントを開催。「みやぎ村田町 蔵の陶器市」と同時期の開催を予定している。



（3）広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実

④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション

●地域連携パートナーシップ

株式会社日本レースプロモーション（以下「JRP」）と、地域活性化とモータースポーツの振興を目的に、6月3日に「地域連携パートナーシップ」協定を締結しました。同協定により、JRPからは各種メディアやイベントを通じた各自治体のPRや、SUPER FORMULAに関する映像や肖像を無償提供が可能となり、各自治体においては、地元サーキットで大会が開催される期間だけでなく、他の地域で大会が開催される期間においても、年間を通じてサーキットの内外にてSUPER FORMULAの権利を活用したPR活動を行うことができる。

6月22日、23日に開催された「SUPER FORMULA 第3戦 東北大会 スポーツランドSUGO」では、地域連携ブースを設置し、同協定を締結している連携自治体の観光RRもあわせて行った。



(1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 (R5・R6)

③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進 (近隣観光需要の取込)

○交流人口拡大事業

- 1年を通じた「花のまち柴田」をテーマにした四季の花まつり (通年観光の展開)
 - ・しばた桜まつり (3月29日～4月14日) (R5:230,000人 前年比84%) (R6:260,000人 前年比113%)
 - ・しばた紫陽花まつり (6月21日～7月7日) ※開催中 (R5:15,765人 前年比138%)
 - ・しばた曼珠沙華まつり (9月21日～10月6日) ※予定 (R5:11,466人。前年比113%)
 - ・みやぎ大菊花展柴田大会 (10月20日～11月13日) ※決定 (R5:5,150人。前年比99%)
 - ・Shibata Fantasy Illumination (12月上旬～下旬) (R5:22,889人。前年比148%)
 - ・しばたスプリングフラワーフェスティバル (7年3月8日～9日) ※予定 (R5:1,006人 前年比100%)



(2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 (R5)

④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション

○「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業 (大河原町との共同事業)

- ・写真パネル展の実施
100年目の桜を撮影したパネルを制作。両町のイベントや商業施設で巡回展示を行っている。
- ・フォトログ大会の実施
地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツ。
10月29日(日) 2町を舞台に、大河原町役場を発着所として開催。町内外から100名参加。
- ・デジタルスタンプラリーの実施
LINEを活用し2町内の103店舗が参加したスタンプラリーを開催 (R5年10月7日～R6年1月14日) 1,454人がアプリに参加



(3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 (R5・R6)

②隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成

○ガーデンツーリズム推進事業 (庭園間交流連携促進事業)

[R5] 官民連携まちなか再生推進事業 (国土交通省) の採択を受け、未来ビジョン (実行計画) の策定に向け、実証実験等を実施。

- ・キッチンカーキャラバンの実施
10月8日(日) 村田町布袋まつり / 12月15日(金)～17日(日) おおがわら桜イルミネーション
- ・モニターツアーの実施
10月1日(日) 柴田町 (曼珠沙華まつり)～蔵王町 (梨狩りほか) / 12月16日(土) 大河原町 (体験、イルミ)～柴田町 (イルミ)

[R6] 昨年度に引き続き、未来ビジョン (実行計画) の策定に向け、実証実験等を実施。

- ・県南地域の観光振興の方向性を示す未来ビジョン (実行計画) の策定
- ・みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会ホームページの強化 / ・エリア内ツアーコースの造成 / ・パンフレット制作等
- ・協議会HPやSNS、情報誌、マスコミ等による積極的な情報発信



(1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

③ 地域コンテンツ一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進

ふるさと応援商品券発行事業 (R5)

- 町民1人あたり6,000円分の商品券を配布し、約54,600千円の需要を創出する計画(第一弾)。令和5年6月より順次配布を開始し、7月1日から令和6年2月29日までの期間で使用率の向上を図る。

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用

※対象者8,221人に対し利用者8,199人(執行率99.7%(最終))

- 町民1人あたり5,000円分の商品券を配布し、約45,350千円の需要を創出する計画(第二弾)。令和5年12月より順次配布を開始し、令和6年2月29日までの期間で使用率の向上を図る。

※物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用

※対象者8,162人に対し利用者8,128人(執行率99.6%(最終))



プレミアム商品券事業 (R6)

- エネルギー価格や物価高騰による買い控えや消費意欲の後退により、町内事業所の景気は厳しい状況にあるため、3割増プレミアム商品券を発行し、町民の購買意欲を喚起し町内経済を循環させる(1セット13,000円を10,000円で販売(1人2セット上限))。

川崎町総合観光・物産情報誌作製事業

- 観光需要の変化に伴う紙面情報の精査と更新により、新たな誘客及び交流人口の増加を図る。

包括的シティプロモーション事業

- YouTube・SNSショート動画コンテンツ制作(各12回)。
- ラジオ番組制作(月2回,第2,4金曜日放送)。
- 前年度からの継続。庁舎内放送連動で周知。



（1）新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

①安全安心対策の情報発信及び安全安心対策や新たなビジネスモデル転換への支援

令和5年度事業の官民共創次世代リーダー育成研修（自治体職員と企業の次世代リーダー候補者が一緒にチームを組み、地域の課題を題材に課題設定から解決策の創出までを本業と並行して取り組む研修プログラム）において提案のあった情報発信の強化を実施

- ・ホームページのリニューアル
- ・SNS（Instagram等）の徹底

③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

丸森町町内経済活性化事業

- (1) 2割増商品券販売事業（事業費：2,000千円 発行総額：12,000千円（1セット6,000円分、合計2,000セット））
- (2) 商店街活性化応援事業（事業費：1,500千円 内容：売り出しセール景品ほか）

（3）広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実

①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会事業

○本年度の予定

- ・募集型体験企画（主催）

企画内容（御朱印つき猫神さま巡り(通年)、栗拾い体験(秋)、ころ柿作り体験(秋)、町内8地区地域歩き企画(夏～冬))



猫神さま巡り



栗拾い体験



ころ柿作り体験



地域歩き企画（魅力再発見）

- ・地域への定期的な誘客のため企画検討（案：丸森の七夕神社⇄仙台七夕を繋げて誘客を図れるもの）
- ・伊達なバス旅ツアー企画の制作（企画制作協力、旅行実施は丸森“こらいん”ツーリスト）